日遊協 東京・関東支部が総会

"低来店率層どう取り込むか"

庄司支部長　今年の課題語る

総会議場の模様（第1部）

社団法人日本遊技関連事業協会東京都・関東支部総会が三月二十一日、東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で行われた。

第一部ではまず、庄司孝輝支部長が「昨年の節電問題で関東ではどうにかほぼ完全な輪番休業ができた。業界が一致団結して取り組み、社会に接することができた大きな節目だった。今年は、ファン入口の減少にどこで歯止めし増客に転ずるか、参加率の低い層をどう取り込むかが課題となるだろう」と挨拶した。

続いて、行政講話で警視庁生活安全部吉森裕次保安課長の講話を同保安課の小島幸雄理事官が代読（記事末に概略）。

その後、庄司支部長・日野文平氏・白井良二各氏を議長団に選任して行った議事では、支部の活動報告が行われ、次に広報委員会・支部強化委員会・人材育成委員会・社会貢献環境対策委員会がそれぞれ事業計画を報告した。

第二部では三つの講演が行われた。まず、(株)エンターティンメントビジネス総合研究所副主任研究員の近藤博寿氏が「カジノ法制化と遊技産業の課題」として講演。近藤氏はカジノが出来た場合の遊技産業への影響について「適正な三点方式が問われるが、透明性が高くなればチャンスはあるだろう」と予測した。

続いて、(株)環境経営戦略総研の村井哲之社長が「電気代高騰時代を生き抜く知恵と行動」と題して講演。村井氏は、「1970年代のオイルショックが起きた翌年、電気代は50%アップした。同じことが起こる可能性があることを考えておくべきだ」などと話した。

最後に、日遊協の篠原弘志専務理事が「風営法における諸問題について」講演。カジノ法案が上程されれば、パチンコと関連付けて質問される可能性があり成り行きには注意が必要だが、法案上程はしばらく様子見になるだろうなどと語った。

行政講話「ぱちんこ営業の現況と健全化営業について」（講話の要旨）

パチンコ営業の健全化を推進する上で特に必要なのは、一つ目は、射幸性を抑さえる取組みの推進について。都内営業店の多くが大衆娯楽の原点に立ち返ろうとする姿勢を打ち出している。実現にはメーカーとの協力体制が必要不可欠であり、連携を強化し今の方向性を堅持してほしい。

二点目はのめりこみ問題への対応。問題を減少させることがパチンコ業界の評価につながることを念頭に真剣に取り組んでほしい。

三点目は、不正改造防止対策について。不正は絶対させないとの強い責任感で取り組むことが必要不可欠で、引き続き積極的に対策を進めていただきたい。

四点目は風営適正化法の遵守について。賞品の買取り・買取りさせについて、また、等価交換規制について誤りなく遵守してほしい。

最後に、中古機流通における適正な運用について。目的が「型式の同一性の確保」「責任の所在の明確化」であることを再認識し点検確認の徹底をお願いする。

原田實氏の藍綬褒章受章に寄せて

遊技業界人として初の受章

▷藍綬褒章
△原田實氏（祝賀会で配布のパンフレットより）

原田實氏が都遊協理事長に就任してから、東京遊技業界は一変した。

積年の課題であった東京業界からの暴力団の追放を完遂したことが、まず第一の成果といえるだろう。特殊景品を廃止して流通性と互換性のある金地金を賞品に採用したことで、暴力団の換金への介入を排除した。

暴力団追放をめぐる北沢組合での義人党のいやがらせは世間の注目を集め、日刊紙も連日トップ記事で報じ北沢戦争と称される。北沢組合の南栄二組合長と当時の北沢警察加藤署長がコンビを組み、リーダーシップを取った。

もちろん、北沢組合員も一丸となって暴力団と対決した。大きな味方となったのは、町内会が団結して暴力団追放を進めたことだ。亀戸組合長の店にはブタの生首が放り込まれるなどの事件があった。

ついに義人党は解散に追い込まれ、年間7億円も吸い上げていた北沢の利権を手放した。

このようにして、賞品として流通性と互換性のある金地金が80組合以上に広がり、東京業界は合法化に成功したものだ。

原田理事長は、地元商店街にもいろいろな角度から貢献し、役員も喜んで引き受け地元に愛される営業を現在に至るまで続けている。

昨年、夏場の電力削減のため全国の遊技業界は輪番休業を断行したが機を見るに敏な原田理事長のリーダーシップがあったからだ。

これまでの原田氏の主な表彰は、警察庁長官賞は金・銀・銅を受賞、警視総監賞、消防総監賞に加え、業界でただひとり東京国税局長の表彰も受けている。

募金554万円を贈呈

島田療育センターを守る会

募金を手渡す稲葉代表（左）

島田療育センターを守る会（稲葉憲司代表）は平成23年度に集めた募金をまとめ、三月十五日東京の中野サンプラザで毎年恒例となっている贈呈式を行った。

今回の募金総額は、554万6462円で、協力団体は都遊協の各組合を中心とした43団体。募金以外のイベントなどへの協賛金総額は230万円相当にのぼるという。

島田療育センターの木実谷哲史院長は「これまでに戴いた募金総額は2億円を超えている。『守る会』のみなさんにはマンパワーやケーキなど、物心両面で支援いただき誠に感謝している」と継続して行われている活動へのお礼を述べた。

「守る会」では「今後、業界が大変厳しい状況にあり、数字を維持していくためには集め方を考える必要がある」とコメントした。

都遊協 "夏のファン感"

パチフェス2012実施へ

東京都遊技業協同組合は、ファン獲得を目指すイベント「パチフェス2012」を七月十四日から三日間実施することを決定した。広告規制の影響により店舗ごとの宣伝機会がなくなることを危惧した青年部が発案した。

若者層に注目されるような商品を揃え、Wチャンス賞などのほか、社会貢献イベントも企画している。

都遊協では、ファン感謝デーが「唯一認められた広告宣伝」と捉え、このイベントを春、秋のファン感謝デーと同様のスキームを採用した共同懸賞として実施する。

奥村遊機 プレス発表会

『ホールのすき間をお埋めします！』

奥村遊機は、「PACHINKO CR笑ゥせぇるすまん～欲望の大都会～」の新機種プレス発表会を三月二十二日、東京上野の同社東京ショールーム・奥村遊館で開催した。

ショールームの内装は原作の舞台「BAR魔の巣」を再現。一風変わった雰囲気のなかで行われた。

冒頭、福岡尉敏社長は、「今機種は、まさに『ホールのスキマをお埋めします』と言うべき出来。引き続き、第2、第3の機械を送り出して行く」と挨拶。

新機種アンベールの後、同社開発本部執行役員の平田宏樹部長が機種説明を、続いて営業本部加納孝取締役本部長が営業展開について説明した。

その後、コンパニオンと新機種とのフォトセッション（↑写真）、続いて試打会となった。

パチスロ「バジリスク～甲賀忍法帖～Ⅱ」

瞬発力で夜の稼動に貢献

©山田風太郎・せがわまさき・講談社／GONZO

ユニバーサルエンターテインメントは、シリーズ2作目となるパチスロ「バジリスク～甲賀忍法帖Ⅱ」を発売した。

限界突破型ARTタイプの新機種は、瞬発力に力点を置き、ホールの「夜から」の稼働」に貢献すべく開発された。押し順ナビ+ルーブ+ストック+上乗せで前作を超える純増枚数を獲得する激増型スペック。20～30代をメインに仕事帰り（夜から）のサラリーマンリスク～甲賀忍法帖Ⅱ」を発売した。有効ラインは4ライン。

新筐体「パスーカ」には度肝を抜く160㎜ウーハーを内蔵。5つのスピーカーと共に重厚感の音響でゲームをアツク演出する。

ホールへの納品は六月十日の予定。

日本ゲームカード カードシステム導入 4258店

日本ゲームカード株式会社のカードシステム導入店舗数は、二月中に累計で4258店（解約12店）となった。

このうち、ICカードシステムの導入店は3549店となっている。

北沢組合 世田谷区へ 福祉車両贈呈

東京都の北沢遊技場組合は、世田谷区の福祉車両を贈っている。その寄付贈呈式が三月十五日、世田谷区民会館で行われた。

北沢遊技場組合から世田谷区長へキーが授与され、区長から北沢組合へ感謝状が贈られた。

今回の助成団体は次の通り。

特定非営利法人SU総合企画・社会福祉法人せたがや樫の木会・特定非営利活動法人ハートフルかみんぐ

RSN

「依存症」セミナー 5・13横浜で開催

特定非営利活動法人リカバリーサポートネットワーク（西村直之代表）は、「依存症」支援の現状と課題と題するセミナーを五月十三日（日曜）、横浜市中区の神奈川県司法書士会館で開催する。参加費無料。

ギャンブリング問題、アルコール・薬物依存問題を含め、それぞれの分野で支援に携わる人たちが対象。

時間は十時三十分から。定員90名（事前申込み順）。

拝啓　陽春の候　ますます隆昌のこととお慶び申し上げます

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて　私儀

このたび　代表取締役社長を退任いたしました　社長在任中は一方ならぬご懇情を賜り誠に有難うございました　何卒今後とも引続きご厚誼を賜りますようお願い申し上げます

なお　後任代表取締役社長には　筒井公久　が就任いたしましたので何卒これまで同様ご指導を賜りますようお願い申し上げます

まずは略儀ながら書中をもちまして御礼かたがたご挨拶申し上げます

敬具

平成二十四年四月吉日

株式会社　SANKYO

取締役　澤井明彦

謹啓　時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます

さて　私儀

このたび　澤井明彦の後任として代表取締役社長に就任いたしました

つきましては微力ながら社業と業界の発展に専心努力いたす所存でございますので　何卒今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

まずは略儀ながら書中をもちまして御挨拶申し上げます

謹白

平成二十四年四月吉日

株式会社　SANKYO

代表取締役社長　筒井公久